

参加者からの主な意見

日時 令和5年10月17日(火) 19:00～

場所 高隈地区交流促進センター

テーマ	地域福祉について
<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="161 501 1414 584">○ 文教福祉委員会が視察研修を行った「子育て支援の先進地」兵庫県加西市では、どのような取り組みがなされていたか。<li data-bbox="161 645 1430 869">○ 高隈地区はこれまで「福祉ネットワーク」として地域全体で福祉に取り組む体制を作っていこうと啓発活動をしてきたが、高齢化も進み、啓発活動もうまくいかなくなってきた。高齢者や子どもの見守りなど、今の体制では難しくなってきたが、「地域福祉協議会」を立ち上げた今、この取組を今度はどう浸透させていけばよいかというのがなかなか難しい課題であると考えている。<li data-bbox="161 929 1414 1108">○ 社会福祉協議会の活動について、今後また新しい取組ができるような話も伺ったが、今の課題としては、これ以上事業を増やすということもだが、今取り組んでいる事業の充実を図っていった方が良く考えている。また新しい内容についてはいろいろ勉強していきたい。<li data-bbox="161 1169 1414 1303">○ 高隈地区でもコミュニティバスを走らせたりできないのか。また、くるりんバスも廃止の方向で動いている地域があるが、そういった地域はデマンド交通に変わっていくのか。<li data-bbox="161 1364 1430 1498">○ 社会福祉協議会では地域生活課題を把握する手法としてアンケート調査を実施しており、良い取組であると思うが、対象が町内会員となっている。それでは町内会に入っていない方々の意見が反映されないと思うが、何か対策などあるのか。<li data-bbox="161 1559 1414 1827">○ 鹿屋市にある児童家庭支援センター（民間）では、こどもたちの不登校、いじめ、虐待などの相談を受けており、去年は延べ2,800件程の相談があった。鹿児島県で虐待と認定されたる件数が鹿児島県で2,423件、そのうち大隅半島は376件と報告されており、年々増加する中、民間レベルでの取り組みは限界にきていると考えている。今後、公的な形での子ども家庭支援センターの設置について、取り組む予定はないか、見解を示してほしい。<li data-bbox="161 1888 1414 1971">○ 「あったかくま」という地域の活動で、子どもたちがボランティア活動をしているときいているが、学校としてそのような活動を勧めたりしているのか。	

- 特認校制度を利用し、校区外から高隈に通学している児童生徒が増えてきている。いじめや、校風になじめないなどの理由から通っている子どもも多く、登下校時に送迎する親御さんがご苦労されているが、市街地等から学校へのスクールバスを運行することで、学校に子どもを行かせやすくなると思う。子どもたちの賑やかな声は高隈の地域活性化にも繋がると思うが、いかがか。